

## 令和3年度を取組の概要

学 校 名	涌谷町立涌谷中学校	主な取組教科	全教科
研 究 主 題	自ら学ぶ意欲を育む基礎・基本の定着 — 生徒が自ら考え、思考を深める授業づくり —		研究年次 3 / 3年次

## 1 今年度の主な学力向上の取組と成果

学力向上の取組	成 果	評価の根拠
授業の改善に向けて 1 課題設定の工夫	授業者による「課題設定」に対する意識の高まりが見られ、生徒の「学習課題の理解」の向上につながった。	教員アンケートにおいて、課題に対する意識が9割を超えるようになった。また、生徒アンケートにおいて、学習課題の理解が9割まで向上した。
授業の改善に向けて 2 発問の吟味	中心発問や説明内容、指示の明確化が図られてきた。	生徒アンケートにおいて、「発問の吟味」の有効性が9割まで向上した。
授業の改善に向けて 3 振り返り活動の設定	振り返り活動として適用問題を実施することの効果、生徒の実感を伴って表れている。	生徒アンケートにおいて、「適用問題を解くことで学習内容を理解できる」と答える生徒が9割まで向上した。
基礎・基本の定着	基礎・基本の定着が図られつつある。	全国学力学習状況調査において、県平均正答率との差が小さくなった。また、生徒アンケートにおいて「授業がよく分かる」と答えた生徒が8割を超えるようになった。
自ら学ぶ意欲	生徒の学習に対する意欲の高まりが見られるようになった。	生徒アンケートにおいて、「授業に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が9割まで向上した。

## 2 残された課題・要因と今後の方向性

課題・要因	今後の方向性
課題 言語能力の育成 要因 全国学力学習状況調査や生徒アンケートの結果から、自らの考えを文章で表すことに苦手意識を抱える生徒が多い。	各教科の授業だけでなく、あらゆる教育活動で生徒の言語活動を充実させ、生徒一人一人の言語能力を向上させていく。
課題 更なる授業の改善 要因 「学ぶことが楽しい」という、本当の意味での学習意欲を引き出していくことが必要である。	本研究の3つの手立てを継続・改善しつつ、言語活動の充実を通して生徒の基礎・基本の定着を図り、「分かる喜び」を感じられる授業を目指して授業改善に取り組んでいく。

◆涌谷町立涌谷中学校 研究関連 URL : <http://>